



障害者就労支援及び国際社会福祉

保健福祉学部 人間福祉学科

教授 氏名 三原 博光 (みはら ひろみつ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 4526 号室
Tel 0848-60-1221 Fax 0848-60-1221
E-mail mihara@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 障害者就労支援、国際社会福祉

キーワード： 障害者、就労、国際社会福祉、ドイツ

● 現在の研究について

研究テーマとしては2つある。1つは障害者福祉のなかで、知的障害者家族の支援・知的障害者の就労支援である。もう1つは、国際社会福祉のなかで、主にドイツの社会福祉と日本の社会福祉の国際比較研究である。

知的障害者家族の支援については、知的障害者の両親の育児問題や夫婦関係、知的障害児の兄弟姉妹の問題を追及する。また、知的障害者家族の余暇支援として、大学で学生による知的障害者家族とのビーチバレーボール・食事交流会の実践活動の報告及び啓蒙活動を行う。

知的障害者の就労支援については、大学における知的障害者の雇用、あるいは大学の食堂における知的障害者の就労体験を企画・実施し、その成果を職業リハビリテーション学会に報告を行って来ている。また、現在、市内で知的障害者を雇用し、パン販売店を運営する障害者の保護者と学生、地域の障害者と共にドイツ菓子「シュトーレン」の製作に取り組んでおり、このお菓子を学生と知的障害者の共同の製作品として販売し、その利潤を知的障害者に還元し、この活動の取り組みのプロセスを社会福祉関連の学会で報告する。

国際社会福祉については、次のように考えている。

日本の社会福祉政策や制度は、欧米諸国の社会福祉モデルとして作られてきた。日本の民生委員制度、介護保険制度、介護福祉士養成制度の先駆的モデルとなったドイツの社会福祉についての

研究を行う。

● 今後進めていきたい研究について

2011年度から県立広島大学とドイツ NRW カトリック大学国際学術交流協定を行っている。両大学とも保健医療福祉の専門家を養成している。そこで、日独の社会福祉士専門養成の教員プログラム、両国の社会福祉の専門家の意識調査など国際比較の研究を行なう。

また、現在、県立広島大学と NRW カトリック大学の両大学において、それぞれの医療福祉機関での国際医療福祉実習の単位互換制度の確立を目指しており、この教育プロセスの研究も進めて行きたいと考えている。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

市内の知的障害者施設と大学における知的障害者の雇用の運動を進めたい。また、将来、ドイツからの医療福祉の実習生・研修生を市内の医療福祉機関が受け入れ、国際医療福祉の活動を地域に根付かせたいと考えている。

● これまでの連携実績

三原市や障害者の父親の会と障害者と学生の交流、ドイツの NRW カトリック大学の教職員・学生との国際交流を行った。また、三原市内の知的障害者施設や特別支援学校と連携し、大学の食堂における知的障害者の就労体験を企画し、実施した。